

2008年2月15日 株価データ取得更新マクロ公開

かねてよりアナウンスしておりました、株価データ取得更新マクロをリリースいたしました。本マクロを使用することで、ヤフーファイナンスからの株価データの取得、および日々の更新が可能となります。
本マクロをご所望の方は、ダウンロードページよりダウンロードを行ってください。

なお、本マクロは無償公開とし、コードも自由に閲覧可能ですが、著作権はKフローおよびKフロー株式トレード研究所に所属します。個人としてのご使用に制約は設けませんが、商業利用や無断転載・転用はご遠慮ください。

本マクロの開発に当たり、貴重なアドバイスをいただいた悪魔くんに感謝いたします。また、貴重なデータを無償公開されているヤフーファイナンスに、敬意を表します。
さらに、エクセルVBA関係の書籍を著したり、ブログにて情報を公開されている先人の方々に、感謝いたします。

本マクロは、ヤフーファイナンスから取得可能な株価データや指数データを取得し、それを日々更新することができます。
また、KFシステムクリエイター用フォーマットで取得する場合は、出来高がゼロだったことによる立会日データの欠落を修正し、株価データを充当します。

株価データの取得期間に制限はありませんが、当然のことながら、ヤフーファイナンスにデータが存在する限りということになります。
ただし、KFシステムクリエイター用フォーマットの場合は、1993年11月1日以降のデータに限定しています。

それでは、以下に本マクロの使用方法について説明いたします。

ダウンロードしたエクセルファイルを開きますと、株価修正シートと立会日シートがあります。ここで、立会日シートはKFシステムクリエイター用フォーマットの際に用いますので、削除や修正を行わないようにしてください。

実際の銘柄登録などは、株価修正シートで行います(シート名は開発の過程で決めてしまいましたので、実際にそぐわない感もありますがご容赦ください)。

データ登録は、6行目以降で行います。空白を挟まずにデータが続く限り、株価データの取得や更新を続けます。そして、空白行になったら、そこで終了します。

A列のCode欄には、取得更新しようとしている銘柄の証券コードを入力します。なお、これはヤフーファイナンスで使用しているコードを用いてください。
コードは、ヤフーファイナンスの時系列データを表示するページで確認できます。また、必ず取引所の記号も付けてください。

B列の銘柄名欄には、取得する銘柄名を入力します。ここに入力した銘柄名は、作成する株価データシートの表題となります。
どのような名前でも構いませんが、証券コードに続けて銘柄名を記載すると、あとあと分かりやすくなります。

C列のフォルダ名欄には、株価データを保存するフォルダ名を、フルパスで入力します。末尾には必ず半角の¥を付けてください。

D列のファイル名欄には、株価データファイル名を入力してください。その際、必ず拡張子をつけてください。なお、新たに株価データを取得する際は、ファイル名が重ならないようご注意ください。もしも、同一名のファイルが存在した場合、上書きを行うかどうか確認を求められます。

E列の基点日欄には、取得するデータの最初の日付を入力してください。なお、それは必ずしもヤフーファイナンスにデータが存在する期間である必要はありません。
データが存在しない場合、データが存在する最初の日付が、自動的に基点日になります。

F列の直近日欄には、取得するデータの最後の日付を入力してください。基点日の場合と同様に、存在しない日付が入力された場合は、その日付の直近の立会日が設定されます。
なお、これらの設定は、株価データ更新後に株価データシートおよび、本ワークシート上に反映されます。

G列のデータ取得欄には、データ取得を新規に行う場合に"1"を入力してください。それ以外の値が入力された場合は、データ取得を行わずに、次の処理に進みます。
例えば、日々の株価データ更新の際には、この欄を"0"にしておきます。

H列の株価修正欄には、取得したデータをKFシステムクリエイター用フォーマットに加工する場合には"1"を、株式分割修正のみを行って表示を整えるには"2"を入力してください。
それ以外の値を入力した場合は、何も行わずに次の処理に進みます。株価更新を行うためには、最初に"1"か"2"のいずれかのフォーマットで、株価データの修正を行っておく必要があります。なお、一度株価修正を行った株価データは、絶対に再修正を行わないようにしてください。

I列の株価更新欄には、株価データの更新を行う場合に"1"を入力してください。それ以外の値を入力した場合は、何も行わずに次の処理に進みます。
なお、株価データがKFシステムクリエイター用かそうでないかは、自動的に判別して処理します。

株価データの更新に際し、立会日当日の9:30分以降に実行した場合は、当日を含むデータを取得し、更新します。
それ以前に実行した場合は、前日までのデータを取得し、更新します。

なお、日付をまたいで更新を行った場合、稀に更新を失敗する可能性がありますので、ご注意ください。
また、更新は毎日行う必要はなく、何日間か株価データの取得を行っていなくても、50日以内であれば、直近までの株価データを全て取得更新することができます。

なお、株価の更新においては分割修正は行われませんので、もしも株価データ取得後に株式分割が行われた場合は、お手数ですが、再度データ取得からやり直すようにしてください。
KFシステムクリエイターをお使いの方は、合わせてシステムの再最適化も必要になります。

J列の単元株数欄には、株価データを取得更新する銘柄の単元株数を入力してください。単元株数が100株未満の場合は1株単位、100株の場合は1,000株単位(小数点第1位まで表示)、それを超える場合は1,000株単位で出来高を表示します。

以上の設定を行った上で、キーボードから Ctrl + j を入力すると、マクロが実行されます。止むを得ない事情でマクロの実行を中止したい場合は、Escキーを連打してください。

株価データ取得更新後、そのデータの中身を確認したい場合は、シート上のファイル名をダブルクリックしてください。そのファイルが開かれます。

なお、今回からエクセル2007形式の拡張子にも対応するようにしました。ただし、動作確認は行っていませんので、不具合があるようでしたらご指摘いただければ幸いです。

また、従来フォーマットの株価データファイルをお持ちの方は、株価シート改定マクロをご利用ください。本マクロに従来株価データのフォルダ名やファイル名を登録し、マクロを実行することで、今回ご提供する株価データ取得更新マクロ用フォーマット(KFシステムクリエイター用フォーマット)に改定いたします。

その際、直近データシート、本日データ取得シート、過去データ取得シートは削除されますので、ご注意ください。もしも、大切な情報をそれらのシート上に記載している場合は、バックアップを取った上で株価シート改定マクロをご利用ください。

また、ファイル更新マクロを、今回の株価データ取得更新マクロに対応させました。合わせてご利用ください。今回はマイナーバージョンアップで、Ver1.12となります。ファイル名は変わりませんので、ご注意ください。

最後に、株価データ取得更新マクロは、Windows Xp + IE6 + Excel2003 上で作成し、動作確認をしておりますが、Windows Xp + IE7 + Excel2003 および、Windows Xp + IE6 + Excel97 でも動作を確認しております。

なお、Excel97の場合は、動作が不安定になることがあり、Runtimeエラーが生じる場合があります。ただし、エラーメッセージが出て、マクロの実行は継続するようです。

また、全ての環境において、本マクロを実行する場合は、事前にインターネットエクスプローラなどを閉じておくようにしてください。それが開いていると、マクロの実行を失敗することがあります。

また、取得した株価データについては、必ずしも正確な情報ではないことをご了承ください。特に、株式分割が頻繁に行われたり、出来高がゼロの日が多かったり、ストップ高やストップ安が連続するような場合は、修正処理の際に誤差が生じる可能性があります。

本マクロのご使用にあたって生じたいかなる損害についても、KフローおよびKフロー株式トレード研究所は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

そのことをご承知いただいた上で、本マクロをご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

以上、ご不明な点等ございましたら、お問い合わせページよりお問い合わせください。また、ご感想等、ブログの方へでも結構ですので、いただけるようでしたら幸いです。